



た ま で し ょ う が っ こ う

が っ こ う

玉出小学校だより 6月号

れい わ ねん が つ に ち お お さ か し り つ た ま で し ょ う が っ こ う
令和8年5月29日 大阪市立玉出小学校

6月を迎え、1学期の折り返し地点となりました。子どもたちも、だんだん新しい学年や学級に慣れてきたと思います。しかし、慣れてくると、新年度に「頑張ろう」と思った気持ちが少し緩んでしまうことがあります。そんな時は、もう一度、気持ちを新たにして、自分の行動を見つめ直してほしいと思います。

さて、これから「梅雨」となります。雨がよく降り、晴れの日が少なくなるので、外で遊べない日が多くなり、あまり好きではない人もいます。しかし、この「梅雨」は、なくてはならないものです。例えば、お米作り。お米を作るには、とてもたくさんの水が必要です。梅雨は、田んぼにたくさんの水を与えてくれます。同じように、畑で作られる野菜のための水になります。また、普段わたしたちが飲んでいる水も、梅雨の時期に雨が降らなければ足りなくなってしまうのです。梅雨の雨は、私たちが人間だけでなく、草花や虫、いろいろな生き物にとっても、恵みの雨になっています。

このように、自分の目から見て感じられることが全てではなく、ちょっと見方を変えたり違う立場で考えてみたりすると、新しい発見や違う感じ方・考え方に気づくことがあります。これからの社会では、一つの物事をいろいろな角度から眺めて、その物事をより深く理解する力が大切になります。子どもたちが、多様な見方や考え方ができるように成長してほしいと思います。

今後とも、保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

お お さ か し り つ た ま で し ょ う が っ こ う こ う ち ょ う う え だ ま さ ひ ろ
大阪市立玉出小学校 校長 上田 昌宏